

市町村合併 を考える



人口や高齢化率の変化は、市町村経営を行っていくうえで最も重要な指標の一つです。一般に、人口減は地域経済の活力を低下させるため歳入減となります。また、高齢化率の上昇は介護保険などの福祉施策の需要を高めるため、歳出増となります。

今回の推計結果では、平成二十七年、東部地域の人口は二十四万二千人（約三％減）、高齢化率は、約三・七ポイント上昇の二十四・二％となります。このことから、東部地域全体として人口減少および高齢化が進むことが明らかになってきているといえます。

このように人口が減少し、高齢化が進んでいく中で、地方分権に著実に対応していくためには東部地域の十五市町村がどのようなべきかをみんなで考えていきたいと思います。

平成二十七年には

今回は、鳥取県東部十五市町村の合併研究会（十五市町村長で構成）がさる八月六日に発表した東部地域の将来の人口・高齢化率の推計結果を紹介します。

鳥取県東部地域15市町村の将来推計人口

(単位：人)

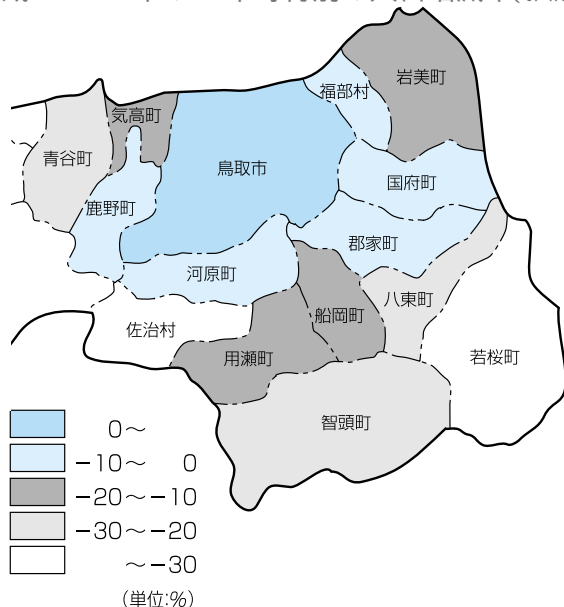
	H12年	H17年	増減率	H22年	増減率	H27年	増減率
鳥取市	150,436	153,508	2.0%	156,305	3.9%	157,889	5.0%
岩美郡	26,086	25,087	3.8%	24,187	7.3%	23,232	10.9%
八頭郡	50,156	47,149	6.0%	44,389	11.5%	41,693	16.9%
気高郡	22,694	21,578	4.9%	20,446	9.9%	19,311	14.9%
東部15市町村	249,372	247,322	0.8%	245,327	1.6%	242,125	2.9%

増減率...H12年対比

高齢化率(全人口に占める65歳以上人口の割合) (単位：%)

	H12年	H17年	H22年	H27年
鳥取市	17.3	18.6	19.9	22.4
岩美郡	23.4	23.9	23.7	24.7
八頭郡	26.2	27.4	27.4	28.4
気高郡	25.6	26.9	27.6	29.9
東部15市町村	20.5	21.5	22.3	24.2

平成12 27年の15市町村別の人口増減率(推計)



平成27年の15市町村別の高齢化率(推計)

